

厚生科学審議会
造血幹細胞移植委員会

骨髄バンク事業の現状

非血縁者間末梢血幹細胞移植の実施状況

財団法人 骨髄移植推移財団

2011.10.13

1

末梢血幹細胞移植とは

- ドナーにG-CSFという薬剤を4～5日間投与して血液中の造血幹細胞を増やし、成分採血(アフェレーシス)という方法で造血幹細胞を採取した後、骨髄移植と同様の方法で移植する。
- 骨髄バンク事業においては、患者とドナー双方が、骨髄か末梢血幹細胞かを選択することが可能であり、ドナーが希望しない提供方法が選ばれることはない。

2

導入後の経過

- ◆平成22年10月：非血縁者間末梢血幹細胞移植導入
(対象ドナー) 次の条件で限定する
 - (1)骨髄提供の履歴あり
 - (2)HLA遺伝子レベル8/8座一致ドナー
 - (3)PBSC採取施設に通院可能であること(実施施設) サイトビジットを行い、認定が完了した施設から開始
- ◆平成23年1月：ドナー登録のしおり「チャンス」改訂
ドナー登録窓口において末梢血幹細胞移植に関する説明開始
- ◆平成23年3月：非血縁者間末梢血幹細胞移植(第1例目)実施
- ◆平成23年10月：「骨髄提供履歴あり」という対象ドナーの条件を外して多少拡大

3

非血縁者間末梢血幹細胞採取・移植認定施設

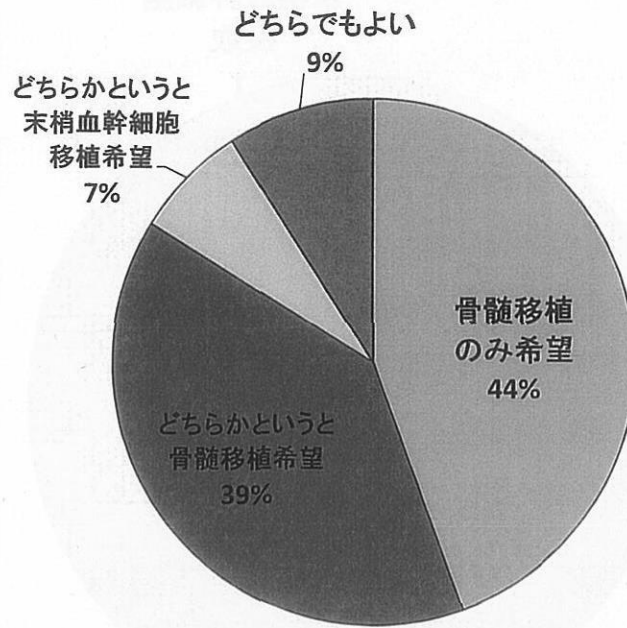
29施設

北海道 3, 東北 3, 関東 7,
中部 5, 近畿 4,
中四国 4, 九州 3

平成23年9月末現在

4

移植に関する患者側の希望

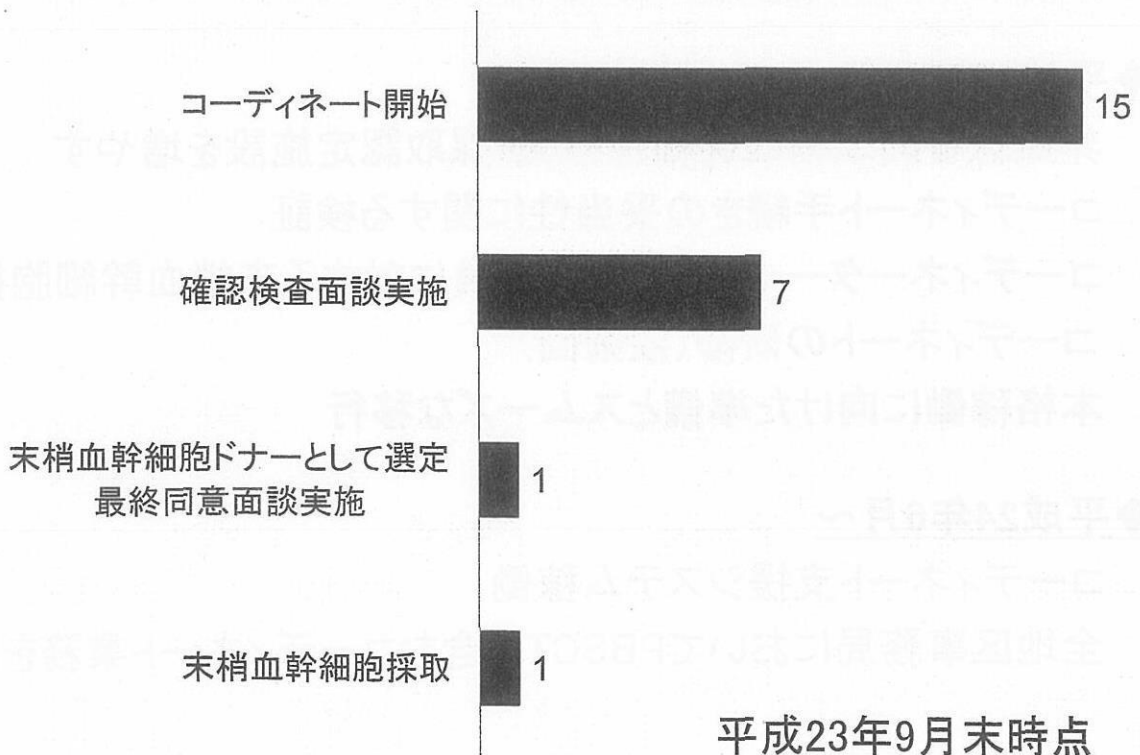


<補足>

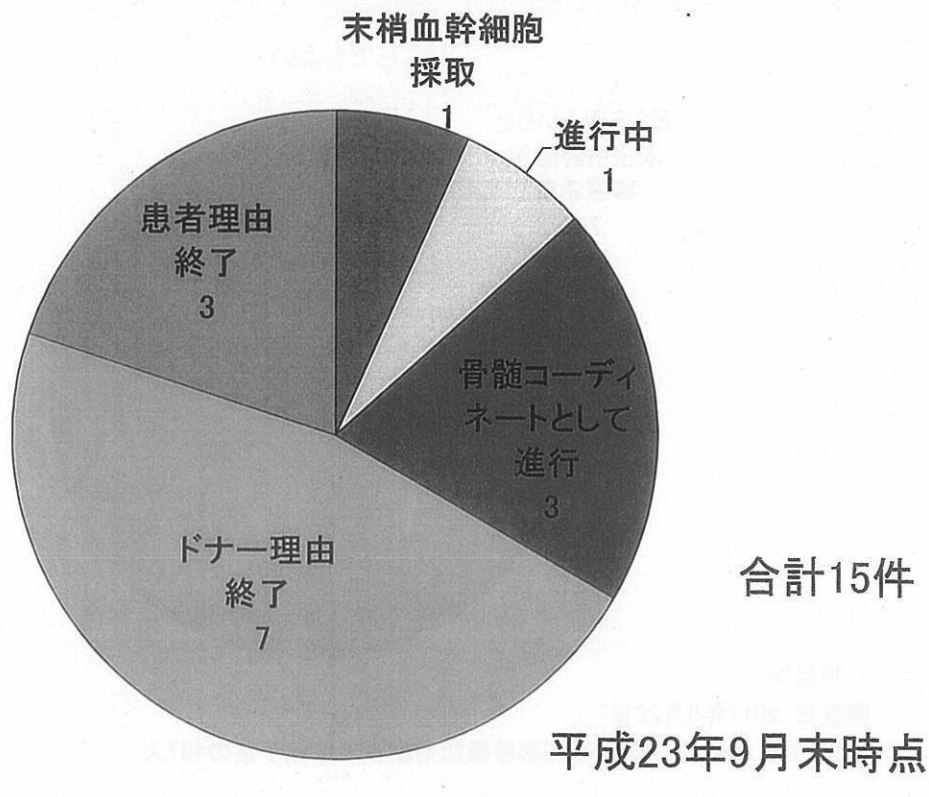
調査日: 2011年9月22日

対象: 非血縁者間末梢血幹細胞移植認定施設で移植予定の457人

末梢血幹細胞移植を含むコーディネート件数



コーディネート開始後の状況



今後の予定

◆平成23年10月～

- ・ 非血縁者間末梢血幹細胞移植・採取認定施設を増やす
- ・ コーディネート手続きの妥当性に関する検証
- ・ コーディネーター・地区事務局職員に対する末梢血幹細胞提供コーディネートの研修(複数回)
- ・ 本格稼働に向けた準備とスムーズな移行

◆平成24年6月～

- ・ コーディネート支援システム稼働
- ・ 全地区事務局においてPBSCTを含むコーディネート業務を開始